



石神井福音教会で

ブラジリアの風



朝岡先生、山口先生と

「主を恐れ、聖霊に励まされて」 使徒の働き9:31

7月3日、成田空港で飛行機を降りた瞬間、熱気を肌で感じ、夏の日本に帰ってきたことを実感しました。国外宣教委員の先生に迎えられ、久留米聖書教会で一泊。翌日には実家のある愛知に移動し、転入届、銀行口座のマイナンバー登録、免許証更新などの手続きに奔走しましたが、ほぼ行程通り旅の一番の目的を達成することができました。

1ヶ月弱の短い日本滞在でしたが、懐かしい家族や友人、教会の兄弟姉妹に再会できたことは何よりの喜びでした。東京に移動した最後の数日は、かつて奉仕神学生としてお仕えした石神井福音教会と永福南キリスト教会（写真下）に伺い、宣教報告と交わりの時が与えられました。未熟で浅はかな者を迎えてくださり、毎週神の家族として共に礼拝をささげた日々が鮮やかによみがえり、胸が熱くなりました。当時の教会学校の子どもたちは、就職や結婚でそれぞれの道に進み、時の速さを痛感しながら、それぞれの歩みが主の御手の中で守られるようにと祈られました。



今回、諸教会を伺って嬉しかったことは、皆さまが「ヴァルゼンボニータ」という開拓地の名前を覚えてくださったことです。異国での孤独な戦いではなく、多くの兄弟姉妹の執り成しと聖霊の励ましの中で支えられ前進していく働きであることを再確認しました。7月30日、成田を立ち、約40時間の旅の末、無事ブラジルに戻りました。私たちが関わる一人ひとりの心の奥底に、主イエスの恵みの福音をお届けできるように、皆さまのお祈りとご支援をこれからもよろしくお願い申し上げます。

「こうして、教会はユダヤ、ガリラヤ、サマリアの全地にわたり築き上げられて平安を得た。主を恐れ、聖霊に励まされて前進し続け、信者の数が増えていった。」使徒9:31

【近況と祈りの課題】

・一時帰国の感謝：諸手続きと諸教会での宣教報告を終えて、無事宣教地に戻りました。私が留守中のブラジルの家族も守られ、長男は参加した青年キャンプで「合格祝いの儀式」を受け、バリカンで丸坊主にされました！

・ヴァルゼンボニータ開拓：月一回の吉田宅のガレージを利用しての礼拝が祝福されますように。毎週礼拝できる会堂が与えられ、関わりのある日系家庭が導かれるように。（岩切家、前添家、宮原家、川村家、小山家、伊藤家、仲村渠(なかんだかり)家、中嶋家、加野家、園田家、伊波家、安田家、新保家、上間家、比嘉家、木村家、仲田家、小野家、岩川家、北原家、渡辺家ほか）

・ブラジリア教会：マスク着用での礼拝ですが、徐々に人々が会堂に戻ってきています。病や貧困、家族関係などの試練に直面している兄弟が主の祝福に与えるように。信仰告白された上野兄弟の快復と洗礼準備のために。

・エストルトラウ教会：貧困地区で開拓伝道を続けているクラウドミール牧師と3人のお子様、教会員のために。

・浜田ファミリー：青年キャンプに参加した子どもたちの信仰がさらに成長し、社会と人々に仕えていけるように。

2022年8月1日 浜田献、陽子



青年キャンプの感謝の報告をする青年たち

「浜田宣教師指定」献金の感謝とご報告

(5-6月) 指定献金: 469,100 円 (1-6月累計: 1,323,100円)
*現地支援: 123,760円 (1-6月累計: 374,730円)
合計: 592,860 円 (1-6月累計: 1,697,830円)

2022年目標額: 350万円 (現地支援を含む)

(*現地支援: 主に日本語教師の謝儀、外部説教奉仕謝礼など)
*皆さまの尊いご献金をありがとうございます。
それぞれのご家庭、教会の祝福を心からお祈り申し上げます。

*オンライン宣教報告 (説教、宣教の証し等)

礼拝や祈禱会でのご奉仕を随時承っておりますので、お気軽にお問い合わせくださり、お招きください。

kenyokomario@yahoo.co.jp